

【展示物名】生目古墳群史跡公園

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 「生目の杜遊古館」に隣接する生目古墳群は、昭和18年9月8日に国指定の史跡となった。平成10年から史跡整備に伴う発掘調査が始められ、多くの成果が得られている。前方後円墳8基、円墳42基の総数50基あることが分かっている。100mを超える前方後円墳が3基あり、西都原古墳群に先駆けて生目古墳群が大型の古墳を造っていたことが明らかになった。また、前方後円墳と南九州の在地的な埋葬方法である地下式横穴墓が密接に関わっていることも発見された。

☆ 小学校6年「大昔のくらしとくにの統一」や中学校の「古代までの日本」の学習を進める中で、地域に残る古墳を観察・見学し、実際に触れることは、郷土の歴史や文化遺産への興味や関心を高めるとともに、主体的な学習が進められる。

【写真】



【14号墳案内板】



ふきいし
【甕った葺石の5号墳】

【学習指導要領】

< 小学校6年 >

(2) 我が国の歴史上の主な事象 ア

- (ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。
- (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

< 中学校1・2年 >

B 近世までの日本とアジア

(1) 古代までの日本 ア

- (イ) 日本列島における国家形成